

福祉会サポーターズ

(題字：そよかぜ広場 伊藤拓馬さん)

平成 29 年 6 月 30 日発行 第 1 号

■ ご挨拶

理事長 小泉正壽

日頃より、当法人の活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。福祉会サポーターズの募集を開始してから、初めての活動報告となります。私たちの活動をご確認いただければ幸いです。

宮城県聴覚障害者情報センターは3年目を迎えました。情報の発信、相談支援、みみサポサロンなどの様々な事業を通して、聴覚障害理解を広める大切な拠点としての役割を果たしていけるよう、引き続き、努力してまいります。

当会を支えていただいております賛助会員の皆様におかれましては、今後もより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成 29 年度 役員体制

理事長	小泉 正壽 (県聴障協)
副理事長	伊藤 史子 (そよかぜ)
事務局長	宮澤 典子 (宮通研)
財政部長	中島 康志 (親の会)
事業部長	武田 浩一 (難聴協)
広報部長	松崎 丈 (文字の都)
理事	平間 弘 (県聴障協)
理事	浅野 順一 (県聴障協)
理事	細川かおる (県聴障協)
理事	菅井 健彦 (難聴協)
理事	及川麻衣子 (宮通研)
理事	早坂 洋子 (友の会)
監事	千葉 明 (県聴障協)
監事	高田ルリ子 (宮通研)

■ 平成 29 年度定時総会を開催しました

5月29日(土)15時より、宮城県聴覚障害者情報センターの研修室において、平成29年度(第5回)定時総会を開催しました。構成団体(正会員)である8団体すべてにご出席をいただき、28年度の事業報告や会計決算報告、29年度の事業計画や会計予算案、29年度の役員選任案の5つの議事がすべて承認されました。

■ 平成 28 年度 基調報告 ※事業報告書より抜粋

本会の主たる事業のひとつである宮城県聴覚障害者情報センター(愛称:みみサポみやぎ)が開所し、丸2年が経過した。情報センターの運営は軌道に乗り、自治体や福祉関係機関から信頼される事業所として定着しつつある。

宮城県聴覚障害者情報センターは、宮城県の受託事業として ①情報発信、②相談支援、③防災啓



発、④意思疎通支援者の育成、⑤当事者の生涯学習・社会参加支援などの事業を行い、手話動画やみみサポ通信をはじめ、各地で開催されるみみサポサロンも好評を得ている。意思疎通支援者の養成・研修では、手話通訳者登録試験(手話通訳者全国统一試験)において2名、要約筆記者登録試験(全国统一要約筆記者認定試験)において3名の合格者を輩出することができた。

みやぎ通訳派遣センターの運営においては、市町村が実施している意思疎通支援事業の受託とそれ以外の機関からの依頼に対応して意思疎通支援者を派遣した。意思疎通支援者の派遣と養成・研修を同一の法人が担うことにより、現場の課題を養成や研修にいかすことができた。もうひとつの法人独自事業として、宮城県手話通訳指導者育成講座を開催した。県内の聴覚障害者の手話通訳ニーズを充たすためには、稼動可能な手話通訳者の増員が不可欠である。受講者を増やすためにも指導者を増やして県内の複数か所で養成講座や研修会を開催していきたい。

■平成28年度 事業報告 ※事業報告書より抜粋



1. 法人事業

- ①定時総会（第4回）平成28年5月28日（土）
- ②理事会（全4回）
- ③六役会（全1回）
- ④宮城県障害者社会参加推進協議会（全2回）
- ⑤全国聴覚障害者情報提供施設協議会
平成28年6月23～24日（大阪市）
- ⑥研修等への職員派遣（のべ12回）

2. 手話通訳指導者育成事業（日本財団助成事業）

平成27年度に続いて2年目。手話を指導できる者および手話通訳を指導できる者の増員を目標として、前年度受講した10名全員が受講を継続。月1回ずつの講座10回と補講1回を実施。前年度履修した手話教授法の理念や知識を土台とし、ワークショップ形式で手話教授法のトレーニングを重ねた。



3. みやぎ通訳派遣センター事業

年間の総取扱い件数は1,171件。約58%を市町村の意思疎通支援事業が占めている。意思疎通支援事業では、手話通訳は26市町、要約筆記は10市町と契約を交わし、主に医療や教育に関する内容で派遣している。意思疎通支援事業以外の派遣では、催し物等の内容で派遣することが多かった。

【みやぎ通訳派遣センター】

	手話通訳	要約筆記
意思疎通支援事業以外	351	85
意思疎通支援事業 (広域含む)	684	51
合計	1,035	136

4. 宮城県受託事業

①宮城県聴覚障害者情報センター運営事業

来所者は、研修室や交流スペースの利用のほか、映像ライブラリーの館内視聴などの目的での来所が増えている。研修室は主に手話通訳者や要約筆記者の養成講座で多く利用した。視察は、被災地の見学に訪れて立ち寄る個人による視察が多かった。

相談支援では、新規の案件が69件。本人からの相談によるものが約65%と多く、メールやFAXによる相談のほか、来所による相談が多く見られた。同じ聴覚障害を持つ相談員を配置していることで、つらさや不安などを手話で語るために来所するケースや、他機関の支援者と協働して相談者の気持ちを汲みながら支援を行うケースが「情緒」にカウントされている。

情報提供として、ホームページでは基本情報や手話動画、イベント情報などを発信している。聴覚障害関連情報もトピックスで取り上げるなど、常に新しい情報を提供し、幅広く利用してもらえるホームページを目指したい。また、紙媒体による「みみサポ通信」を月1回発行している。限られた紙面ではあるが「毎月楽しみにしている」という声をいただき、新規の相談受付にもつながっている。

センターの利用促進を図り、旬のトピックスを取り上げ集合形式で情報を提供する「みみサポサロン」を3回開催し、県内各地からのべ71名の参加があった。宮城県身体障害者協会や宮城県司法書士会の協力をいただき、障害者差別解消法や相続といったテーマを取り上げた。

出前講座は、障害者差別解消法に関連して、行政職員向けの研修に多く利用された。センターの事業概要の説明や活用のほか、聴覚障害の特性やコミュニケーション等を盛り込んだ。宮城県視覚障害者情報センターとの「コラボ出前」も、実施回数増加につながっていると思われる。

②被災聴覚障害者情報等支援事業

東日本大震災により被災した聴覚障害者の生活再建に向けた相談支援を行うほか、聴覚障害者が安心して生活できる環境づくりや災害時の支援活動拠点づくりを行っている。

情報提供としては、センターで配信している手話動画において、震災や防災に関連したトピックスなどを取り上げた。また、配信した動画を半期ごとにまとめたDVDを制作し、貸し出しする取り組みを始めた。今年度は38本を貸し出している。

相談支援の新規案件は67件。訪問や同行などアウトリーチ型で対応したものが約28%となっており、相談者が居住地から離れることなく行われる支援が3分の2を占めている。補聴器や日常生活用具、当事者団体等の社会資源を紹介する「情報提供」が中心。家族等のほか地域包括支援センターといった本人以外の支援者からノウハウの提供や連携を求められるケースが多く、聴覚障害者本人の気持ちを伺いながら、本人と支援者の信頼関係を構築できるよう対応した。被災地において、仮設住宅等で暮らす聴覚障害者に丁寧に向き合い、話を伺い、その地域に出向いた時には立ち寄って顔を合わせたりしながら見守りを続け、必要に応じて地域の生活支援員と情報を共有するなど、支援のネットワーク作りも継続している。



【宮城県聴覚障害者情報センター運営事業】

来所者数	2,996名 (月平均249名)
相談件数	総数 558件 情緒 81件 社会資源の紹介 26件 対人関係 25件
ホームページ	アクセス総数 116,947 動画再生 99,809 ブログ 150,823
サロン数	3回 (センター開催分) 参加者 のべ 437名
出前講座	11回

【被災聴覚障害者情報等支援事業】

相談件数	総数 329件 情緒・見守り 72件 情報提供 78件 対人関係 56件
サロン数	14市町 全29回 参加者 のべ 366名
出前講座	5回



みみサポサロンは 14 市町において全 29 回開催し、参加したのべ数は 366 名となった。サロンの実施回数や内容については、市町ごとに行政担当者と共に検討した。交流を柱として、マイナンバー制度など新たな制度に関連したテーマや、老後や健康、防災など暮らしに関連したテーマを取り上げ、講話や座談会を行う機会を設けた。「サロン仲間」に会うことを毎回楽しみにしている参加

者もあり、広がりを感じている。28 年度は白石市が独自の取り組みとして「みみよりサロン」を実施した。サロンのノウハウの提供を行い、内容の検討や個別相談の受付などにおいて協力を行った。気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部が実施する「消防もしも研修会」も継続されている。

つながりの構築では 5 回の出前講座を実施した。町民向けや地域ボランティア向けの講座などで活用していただくことができた。

災害時における聴覚障害者支援に関する取り組みは、東日本大震災で得られた教訓などをもとに「有事のあるべき姿」「平時のあるべき姿」を想定し、どのような取り組みにつなげるべきかを検討するための準備作業を進めている。当事者団体等から十分に意見を伺う体制を作り、よりよい支援手法の検討や、災害時における聴覚障害者情報提供施設の役割を整理しながら「宮城方式」の検討を行いたい。

③手話通訳者養成研修等事業

ア 手話通訳者養成研修事業

	内容	受講者数	備考
養成事業	手話通訳者養成講座（基本応用）全 54 講座	8	実践進級者 8 名
	（実践）全 27 講座	10	修了証交付者 10 名
	登録試験直前対策講座 全 3 回（9 時間）	17	
	登録試験（全国統一試験を導入）	25	合格者 2 名
	合格証書授与式・合格者オリエンテーション	1	要約筆記者と合同
研修事業	手話通訳指導者養成担当講師連続講座 全 8 回	1	千葉県
	（講義編）全 1 回	1	京都府
	登録証交付式・新登録者オリエンテーション	6	要約筆記者と合同
	現任研修 全 3 回	のべ 76	
	手話通訳士試験対策講座 全 2 回（8 時間）	5	

イ ろうあ者社会生活訓練事業

	日程	会場	内容	参加者数
1	8/6（土）	気仙沼市	認知症（保健師）	7
2	12/17（土）	亘理町	障害者差別解消法（県障害者社会参加推進センター所長）	10
3	2/6（土）	多賀城市	がんと検診（県立がんセンター 総合がん検診センター長）	23

ウ 字幕入り映像ライブラリー貸し出し事業

	内容	備考
登録者数	身体障害者手帳保持者 54名	新規登録7名含む 新規登録10名含む
	健聴者 29名	
	団体等 5団体	
貸出数	DVD 523	
	VHS 26	
	館内閲覧 (DVD) 120	

エ 難聴者のトータルコミュニケーション教室開催事業

	日程	会場	内容	参加者数
1	10/8 (土)	石巻市	言語聴覚士による講話 明日から使える手話講座 交流	15
2	11/19 (土)	大崎市		17
3	1/21 (土)	大河原町		16
講	12/17 (土)	亙理町	生活支援講座) 障害者差別解消法	10

オ 手話通訳者派遣ネットワーク事業

手話通訳を必要とする聴覚障害者が都道府県間を移動する場合に、目的地において必要となる手話通訳者を確保するためのネットワークの整備および維持を行った。(※件数は派遣センター事業参照)

④要約筆記者養成研修事業

	内容	受講者数	備考
養成事業	要約筆記者養成講座 (後期) 全18講座 登録試験直前対策講座 全4回 (8時間) 登録試験 (全国統一認定試験を導入) 合格証書授与式・合格者オリエンテーション 指導者養成研修 全3ケル	手書き 11/PC15 手書き 9/PC11 手書き 11/PC15 手書き 2/PC1 要筆 1/難聴 1	修了者 手書き 9/PC13 合格者 手書き 2/PC1 手話通訳者と合同 東京都
	研修事業	登録証交付式・新登録者オリエンテーション 現任研修 全4回	PC 1 のべ 52

■ 福祉会の取り組みをホームページでごらんください

福祉会の様々な取り組みは、下記のホームページでご覧いただけます。ぜひご意見や感想などお寄せください。

宮城県聴覚障害者福祉会 (団体名で検索できます!)

みやぎ通訳派遣センター のページもあります (様式のダウンロードもご利用ください)

宮城県聴覚障害者情報センター 「みみサポみやぎ」で検索してください

みみサポブログは毎日更新! 手話動画は毎週月曜日に更新しています

手話通訳や要約筆記付きのイベント情報のページが人気です

■平成 28 年度 福祉会サポーターズ 特別会員メンバー紹介

宮城県立病院機構 理事長 西條 茂 様	長町三好耳鼻科 理事長 三好京子 様	草刈耳鼻科 院長 草刈千賀志 様
おおぬまクリニック 院長 大沼秀行 様	みみ・はな・のど富沢クリニック 院長 中野 浩 様	みみ・はな・のど北仙台クリニック 院長 古川加奈子 様
医療法人丹誠会 理事長 丹野哲子 様	耳鼻咽喉科 医師 武山昭子 様	やすだ耳鼻咽喉科 ・アレルギー科クリニック 院長 安田 京 様
宮城県議会 議員 中島源陽 様	宮城県議会 議員 吉川寛康 様	なとり耳鼻咽喉科医院 様

■福祉会サポーターズのご案内

宮城県内のすべての聴覚障害者の暮らしをよりよいものにするため、すべての聴覚障害者がいきいきと暮らせる社会をめざして、きこえやことばのバリアをなくすための事業に取り組みます。

個人会員

一口 1,000 円 (何口でも可)

特別会員

一口 10,000 円

特典内容	個人会員	特別会員
1) 情報紙「福祉会サポーターズ」(A3 両面/年 1 回発行)	○	○
2) 年次報告書の送付 (総会資料をまとめた冊子状のもの)	—	○
3) 総会資料および年次報告書への会員名掲載	—	○
4) 公式ウェブサイトへの会員名掲載	—	○
5) 「宮城県聴覚障害者福祉会を支援しています」という文言を対外的に利用可能	—	○

【お申し込み方法】

①ゆうちょの払込用紙を使う

口座/02220-6-121362 名義/一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

②窓口・ATMで支払う

※下記の口座にお振込みいただき、お名前・ご住所・電話 (FAX) を事務局までご連絡ください。

名義/一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

*郵便振替の場合/18100 11904391

*銀行から振込の場合/ゆうちょ銀行 八一八支店 普通 1190439

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会 事務局

980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3 丁目 1-6 宮城県聴覚障害者情報センター内

電話 022-393-5501 FAX 022-393-5502

Mail secretariat@miyacho-fukushi.jp